KENWOOD

デジタルオーディオプレーヤー

MG-E504
MG-E502

取扱説明書　保証書付

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、取扱説明書の「安全上のご注意」、本文をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。
取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

※一般電話･公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-933-5133**
FAX **045-933-5553**
受付時間　月曜日～金曜日　9:30 ～ 18:00
　　　　　土曜日　　　　　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
　　　　　※日曜、祝日及び弊社休日を除く

© B60-5791-08/01 (J)

目次

本機の特長

- 多様な音楽ファイル形式(MP3、WMA、AAC、WAV)に対応
- 音楽配信サービス WMA DRM9 方式に対応
- 静止画(JPEG、BMP)再生対応
- お気に入り設定機能で好みのプレイリストを作成可能
- SDHC 対応 micro SD カードスロット搭載
- 5バンドのカスタムサウンド設定可能
- 高音質カナルタイプヘッドホン付属

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

異常について

異常が起きた場合は使用を中止する

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がした場合は、すぐに電源を切り使用を中止する。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や異臭、異音が消えたのを確かめてから修理にご依頼ください。

使用について

運転中、および歩行中はヘッドホンを使用しない

交通事故の原因となります。
自転車に乗りながら、または自動車･オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しない。また、歩行中にこの機器を使用すると周囲の音が遮断され、警告音などが聞こえにくくなります。

運転中は操作しない

自動車やオートバイ、自転車など運転中の操作は行わない。
交通事故の原因となります。本機を操作するときは、必ず安全な場所に車を停めてから行ってください。

運転中や歩行中は画面を注視しない

交通事故の原因となります。

本製品に付属のイヤーチップを子供の手の届くところに置かない

誤飲をし、窒息による死亡の恐れがあります。
万一イヤーチップを飲み込んだ場合は、吐き出すための救急処置を行い、すぐに医師の診断を受けてください。

雷が鳴り始めたら屋外で使用しない
感電の原因となります。

異常について

落としたら使用を中止する
機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

設置について

風呂、シャワー室では使用しない
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災、液もれの原因となることがあります。

本機を熱器具に近づけない
本機を熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
火災、液もれの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない
油煙や湯気のあたる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災、液もれの原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない
窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災、液もれの原因となることがあります。

⚠ 注意

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

使用について

肌に異常を感じたら使用しない

皮膚に炎症を起こす原因となることがあります。
万一使用して肌や耳に異常を感じたら、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。

耳に病気がある人は使用しない

病気を悪化させる原因となることがあります。
万一使用して肌や耳に異常を感じたら、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。

イヤーチップの取り付けをしっかり行なう

ヘッドホン本体とイヤーチップの取り付けが不十分ですと、イヤーチップが外れて耳の奥に入り、耳を傷つける原因となることがあります。万一耳の奥で外れてしまった場合は医師の診断を受けてください。

ヘッドホンの脱着は丁寧に行う

耳へのヘッドホンの脱着はゆっくりと丁寧に行ってください。
乱暴に脱着を行うと耳を傷つけることがあります。

メモリーカードは乳幼児の手の届かないところに置く

メモリーカードをあやまって飲み込むおそれがありますのでご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

水をかけたり濡らしたりしない
火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

音量について

はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない
聴力に悪い影響を与えることがあります。

お手入れ

定期的に内部の点検、清掃をする
3 年に 1 度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。
販売店、または最寄のケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

使用上のご注意

取扱いに関すること

- 強い衝撃を与えないでください。本機や記録したデータが破損する原因となります。
- ディスプレイに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- 硬いものと一緒にバックなどに入れないでください。押されたときなどに大きな力が加わり、破損するおそれがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、破損するおそれがあります。
- **汗や湿気に注意する**
  本機を夏場の胸ポケットに入れて長時間使用すると内部に水分や汗などが浸入して誤動作、故障の原因となります。

使用温度範囲

温度：5℃～ 35℃ ただし結露しないこと。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。
このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

お手入れのしかた

汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

著作権を守りましょう

本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の承認を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。

- 市販の音楽CDなどを著作者の許諾無しに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。
- 個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の許諾無しに第三者に配布することはできません。
- 個人で楽しむ目的で記録したデータを、権利者の許諾無しに故意にインターネットで配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触する可能性があり、その場合処罰の対象となります。
- 権利者の許諾無く、このプレイヤーを賃貸業に使用すること、このプレイヤーに収録されている音を個人的に楽しむ場合以外の目的で複製することおよびネットワーク等を通じて送信できる状態にすることは著作権法で禁じられています。

記録したオーディオについて

- 本機やパソコンの不具合で、データが破損または消去された場合、そのデータ内容および付随的損害（音楽の購入取得に要した諸費用等を含む）の保証はいたしません。

ファームウェアのバージョンアップ

より良くお使いいただくために、ファームウェアのバージョンアップをすることがあります。
アップデートについては、「http://www.kenwood.co.jp/faq/」にてご案内しております。

内蔵電池について

- 内蔵電池は、本機を使用していなくても少しずつ自然放電していきます。本機を長時間放置すると、内蔵電池が放電しきってしまうことがあります。
  この場合、充電してからご使用ください。
- 充電時間は内蔵電池の状態や周囲の温度などにより変わります。
- 低温の環境で使用すると、再生時間が短くなります。
- 内蔵電池は約400回充電できます。（参考値であり、保証する値ではありません）
- 内蔵電池はリチウムイオンポリマー電池です。ニッカド電池やニッケル水素電池のように浅い充電や放電を繰り返すと容量が減少してしまうメモリー効果はありません。継ぎ足し充電ができます。
- 内蔵電池は消耗品です。繰り返し使用していると、使用できる時間が徐々に短くなります。
  充分に充電しても使用できる時間が極端に短くなった場合、内蔵電池が劣化していると思われます。
  内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にご依頼ください。
- 内蔵電池が放電しきったことによる、記録内容の変化・消失については、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

SDカードの保管とお手入れ

保管するときは

- 必ずケースに収納して保管してください。
- 極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

汚れたら

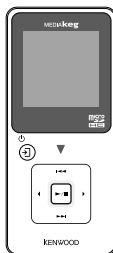
- やわらかい布などで、軽くふきとってください。
- シンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

その他お守りしていただきたいこと

- 分解や改造をしないでください。
- 貼られているラベルをはがさないでください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。
- 裏面の金属端子部を手や金属で触れないでください。

SD カードを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「初期化」や「削除」では、ファイルの管理情報が変更されるだけで、SDカード内のデータは完全に消去されません。廃棄/譲渡の際は、SDカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトウェアなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

付属品の確認

本体

ヘッドホン
（イヤーチップMサイズ付）

イヤーチップ
（Lサイズ、Sサイズ）

USBケーブル

取扱説明書（保証書付）

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、隣り近所への配慮を十分いたしましょう。
特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

microSDHC は商標です。

Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

音楽を聞くまでの流れ

初めて使うときは

充電する（22ページ）
使用言語を設定する（19ページ）

準備

ヘッドホンをつなぐ（20ページ）
電源を入れる／切る（18ページ）
ボタン操作を無効にする（18ページ）
パソコンに接続する（22ページ）

音楽ファイルを準備する

曲をパソコンに取り込む（24ページ）

パソコンから本機に曲を転送する

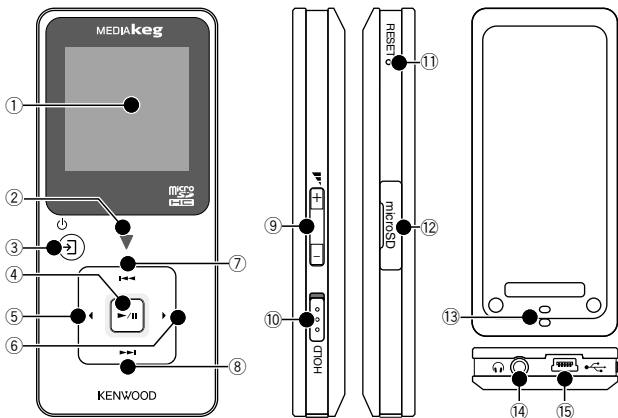
曲を本機に転送する（27ページ）

本機で音楽を再生する

曲を選んで聞く（34ページ）
再生中の操作と画面（37ページ）
再生モードいろいろ（39ページ）
お気に入りの再生（40ページ）

音量や音質を調整する

音量を調整する（44ページ）
音質を調整する（44ページ）

各部の名称とはたらき

① ディスプレイ部

② ▼インジケーター表示

	再生時	USB接続時
点灯	電源がオンです。	充電中です。
消灯	電源がオフです。	充電完了です。
5秒に1回点滅	ディスプレイの消灯中です。	—
5秒に2回点滅	ホールド機能をオンにした、ディスプレイの消灯中です。	—

メモ
- ボタンを押すときは、短く押してください。「押し続ける」または「押している間」と記載されているボタン以外を長く押すと動作しません。

③ ⏻/⇥ 電源/メニューボタン
- 電源が切れているときにボタンを押すと、電源をオンします。
- 電源が入っているときにボタンを押し続けると、電源をオフします。
- ポップアップメニュー（17ページ）を表示します。もう一度押すと、ポップアップメニューを消せます。
- ディスプレイが消えている場合は、ディスプレイを表示します。

④ ►/II プレイ/ポーズボタン
- 曲を再生/一時停止します。
- メニューやライブラリ画面（16ページ）では、選んだ項目を決定します。

⑤ ◀ 左ボタン
- 1つ前（左）の画面に戻ります。たとえば、再生画面からトラックリストへ戻ります。
- ボタンを押し続けると、トップメニュー画面（16ページ）に戻れます。

⑥ ▶ 右ボタン
- 項目を決定して次（右）へ進みます。
- ボタンを押し続けると、再生画面（37ページ）に戻れます。

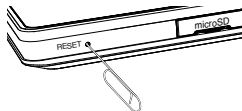
⑦ I◀◀ 上ボタン
- カーソルを上に移動します。
- 再生中は、曲の先頭に戻ります。先頭で押すと、1つ前の曲に戻ります。
- ボタンを押し続けると、押している間、早戻しされます。

⑧ ▶▶I 下ボタン
- カーソルを下に移動します。
- 再生中は、次の曲に進みます。
- ボタンを押し続けると、押している間、早送りされます。

⑨ ボリュームボタン
- 音量を大きく（+）/小さく（−）します。ボタンを押し続けると、徐々に音量が変わります。

⑩ HOLD ホールドスイッチ
- すべてのボタン操作を受け付けなくなります。カバンなどに入れて持ち運ぶときに、本機の誤操作を防ぎます。（18ページ）

⑪ RESET リセットボタン
- 異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」（60ページ）を参照してください。解決方法が見つからないときは、リセットボタンをクリップなどで押してください。リセットボタンが押されると「カチッ」と感触があります。

《注意》
リセットボタンを押すと、お気に入りの設定が削除され、設定メニューの値がお買い上げ時の状態に戻ります。

⑫ microSDカード挿入口
- microSDカードをセットします。（21ページ）

⑬ ストラップ取り付け部
- ストラップのひもを通す穴です。

《注意》
ストラップ取り付け部には、金属製のフック形状のもの（キーホルダーなど）を取り付けないでください。このようなものを取り付けると、本機が壊れる恐れがあります。

⑭ ヘッドホン端子
- 付属のステレオヘッドホンを接続します。

⑮ USB端子
- 音楽ファイルや画像ファイルを転送するときや充電するときに、付属のUSBケーブルでパソコンと接続します。（22ページ）

画面表示一覧

トップメニュー画面

選曲を始めたり、各種設定するための最初の画面です。

ライブラリ画面

聞きたい音楽ファイルや画像ファイルを選択する画面です。（34ページ）

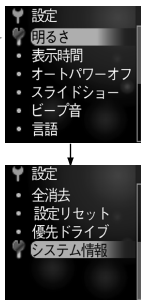
（40ページ）

（36ページ）

設定
明るさ
表示時間
オートパワーオフ
スライドショー
ビープ音
言語

設定
全消去
設定リセット
優先ドライブ
システム情報

設定メニュー画面

各設定をする画面です。

項目	ページ
明るさ	48ページ
表示時間	48ページ
オートパワーオフ	48ページ
スライドショー	48ページ
間隔	48ページ
リピート	48ページ
ビープ音	48ページ
言語	48ページ
全消去	50ページ
設定リセット	48ページ
優先ドライブ	47ページ
システム情報	49ページ

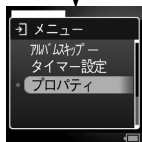
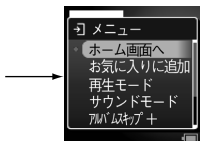
USB接続画面

パソコンに接続していることを表す画面です。

（36ページ）

（42ページ）

再生画面

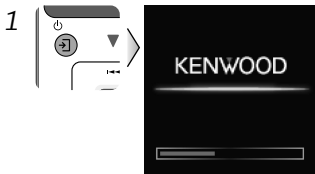
（37ページ）

ポップアップメニュー画面

再生に関係する機能を設定する画面です。

ホーム画面へ	―
お気に入りに追加	40ページ
お気に入りから削除	41ページ
再生モード	39ページ
サウンドモード	44ページ
アイテムスキップ＋	38ページ
アイテムスキップー	38ページ
タイマー設定	46ページ
プロパティ（ファイル情報）	43ページ

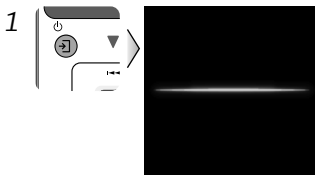
電源を入れる／切る

電源を入れる

1

→] を押すと、ケンウッドのロゴが表示されて電源が入ります。

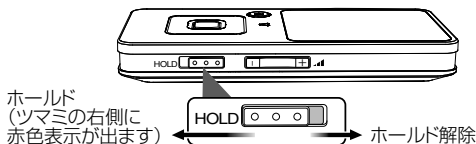
HOLD
- ホールド機能を解除してから操作します。
- 内蔵電池の容量が少ない場合は、パソコンに接続して充電してください。（22 ページ）

電源を切る

1

左のイラストが表示されるまで、→] を押し続けます。

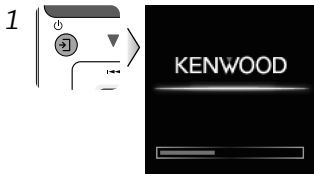
- 操作しないで一定時間が過ぎると、自動的に画面が消灯します。ディスプレイ消灯中は、▼インジケーターが約5秒間ごとに1回点滅します。なお、ディスプレイの表示時間は変更できます（48ページ）。

ボタン操作を無効にする（ホールド機能）

本機をカバンなどに入れて携帯するときなど、誤操作を防ぐためにすべてのボタンを無効にすること（ホールド機能）ができます。
本機を操作する際は、ホールドを解除してください。

- ホールド機能をオンにすると、ディスプレイ消灯中は、▼インジケーターが約5秒間ごとに2回点滅します。また、再生中の画面には「 」が表示されます。

初めて電源を入れる

お買い上げ後、初めてプレーヤーの電源をオンにしたときには、ご使用になる言語を選択します。

1

→] を押すと、ケンウッドのロゴが表示されて電源が入ります。
ケンウッドのロゴが表示された後、言語を選択する画面が表示されます。

2

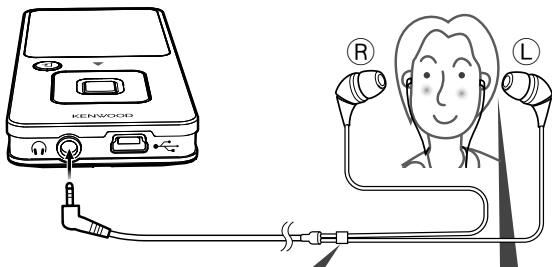
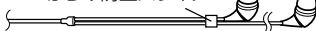
⏮ または ⏭ を押して、使用する言語を選択します。

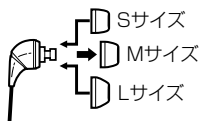
3

►/II を押して、決定します。

- ここで設定した言語で画面が表示されます。
- 本機の電源をオフにしても、ここで設定した言語の選択は保持されます。
- あとから言語を変更することもできます(48ページ)。
- 内蔵電池の容量が少ない場合は、パソコンに接続して充電してください。約10分の充電で動作の確認が可能となります。(22ページ)

ヘッドホンをつなぐ

付属のステレオヘッドホンを本機に接続します。

イヤーチップを選ぶ

お買い上げ時はMサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のSサイズまたはLサイズに交換してください。

- ヘッドホンの脱着は、ヘッドホン本体を持ってゆっくりおこなってください。コードを引っぱると故障の原因となります。
- イヤーチップのお手入れは、ヘッドホン本体からイヤーチップを外してから、うすめた中性洗剤で洗ってください。洗浄後は、水気をよく拭き取ってからご使用ください。
- イヤーチップは、長期の使用・保存により劣化することがあります。
  交換用イヤーチップのご購入に関するお問い合わせは、販売店までお願い致します。

SDカードの出し入れ

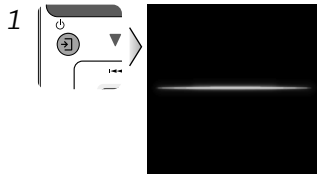
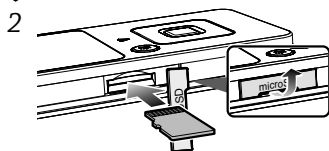
本機では、SDカードに保存された曲や画像を再生できます。

- 本機で使用できるSDカードは、microSDおよびmicroSDHCメモリーカードです。詳しくは、「定格」（56ページ）をご覧ください。

SDカードを入れる

1

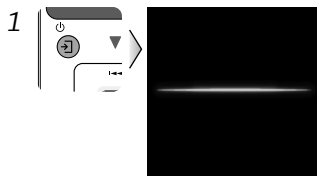
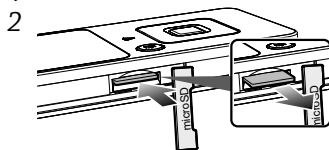
本機の電源を切ります。
左のイラストが表示されるまで、
→ を押し続けます。

2

カードふたを開けます。
ラベル面を下に向け、カットされた部分が左になるようにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
カードふたを閉めます。

SDカードを取り出す

1

本機の電源を切ります。
左のイラストが表示されるまで、
→ を押し続けます。

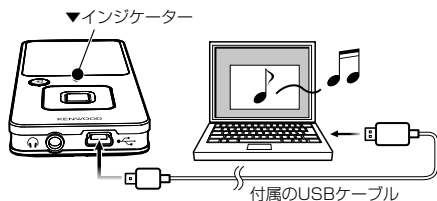
2

カードふたを開けます。
指を添えたまま SD カードを「カチッ」と音がするまで押し込むとポップアップしてきますので引き抜きます。
カードふたを閉めます。

- SDカードを挿入していると、再生中の画面に「SD」が表示されます。

充電する／パソコンに接続する

本機には充電式電池（以降、「バッテリ」）が内蔵されており、パソコンとUSBケーブルで接続して充電します。

充電する

付属のUSBケーブルを使って、本機とパソコンを接続します。
▼インジケーターが消灯したら充電完了です。
約3.5時間で充電が完了します。
パソコンとはUSBマスストレージクラスで接続されます。
パソコンから取り外す方法は、「パソコンから取り外すときは」（23ページ）をご覧ください。

- 必要なパソコンのシステム構成は「定格」（56ページ）をご覧ください。
- 本機を接続する前にパソコンを起動しておいてください。
- 本機は、パソコンに接続すると自動的に電源がオンになります。
- USB接続は付属のUSBケーブルを使用してください。
- パソコンのUSB端子に直接接続してください。USBハブを使用して接続した場合の動作保証はいたしません。

充電とバッテリ残量表示について

充電中は▼インジケーターで状態を表示します。また、再生中は、バッテリの状態が画面にアイコンで表示されます。

▼インジケーター

点灯	充電中です。
消灯	充電完了です。

画面のアイコン表示

	電池の残量を表示します。
	電池の残量がありません。充電してください。

- 充電中（USB接続中）はバッテリ残量アイコンが表示されません。

パソコンから取り外すときは

1 パソコンのタスクバー上の [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンをクリックします。

10:10

タスクトレイのインジケーターが隠れている場合は表示させます

Windows Vista　Windows XP　Windows 2000

2 [USB 大容量記憶装置 - ドライブを安全に取り外します] をクリックします。

(Vista)
(XP)
(2000)

安全に取り外せる状態を示すメッセージが表示されたら、本機からUSBケーブルを抜いてください。

《注意》

- パソコンからデータの転送をしているときはUSBケーブルを抜かないでください。メモリ内のデータが破壊されることがあります。
- パソコンから取り外す操作を行ってから、本機を取り外してください。

曲をパソコンに取り込む

本機で再生する音楽ファイルは、まずパソコンに取り込んでおきます。
パソコンへの取り込みには、Windows　Media　Playerなどのリッピングソフトウェアを使用します。

- 本機で再生できる音楽ファイルのファイル形式は、MP3、WMA、WAVおよびAACです。詳しくは、「定格」（56ページ）をご覧ください。（AACはWindows Media Playerでは作成できません）
- 本機で表示できる画像ファイルは、JPEG、BMPファイルです。詳しくは、「定格」（56ページ）をご覧ください。

Windows Media Player 11/10/9で取り込むときは

音楽CDをWindows Media Player11/10/9でパソコンに取り込みます。
その後、本機に転送します。（説明はWindows Media Player11の場合です）

- Windows　Media　Playerのバージョンごとの説明など、詳しくはホームページをご覧ください。http://www.kenwood.co.jp/faq/

1 Windows Media Player を起動します。

2 [取り込み]① をクリックします。

3 音楽 CD をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

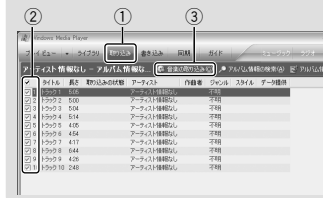
4 取り込みたい曲にチェックマーク ② が付いていることを確認します。
リストの一番上のチェックボックスをチェックすると、すべての曲にチェックを付けたり、はずしたりできます。

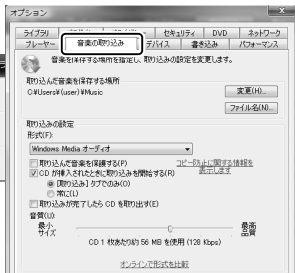
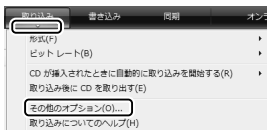
5 [取り込みの開始]③ をクリックします。
チェックマークの付いている曲が取り込まれます。

「取り込みオプション」表示される場合

「取り込んだ音楽にコピー防止を追加しない」を選択し、「CD から取り込む音楽が、……すべての責任を負うことを理解している」にチェックしてから [OK] をクリックします。

Windows Media Playerのバージョンによりボタン名称が変わります。

Windows Media Player10の場合　　Windows Media Player9の場合

- Windows Media Playerで曲を取り込むときの保存先フォルダやファイル形式などについては、[ツール]→[オプション]で表示される「オプション」の[音楽の取り込み]タブで設定できます。
  (Windows Media Player9では[音楽の録音]タブで設定します)

  Windows Media Player
  11の場合

- 音楽CDの取り込み操作の詳細については、お使いのリッピングソフトウェアの説明書やヘルプなどをご覧ください。

アルバムのジャケット写真（アルバムアート）について

本機でジャケット写真を表示するには、Windows Media Player 11/10でアルバムアート付きのアルバム情報を取り込んでおく必要があります。

- ジャケット写真（アルバムアート）で表示できる画像ファイルは、JPEGファイルのみです。
- Windows Media Player 9は、ジャケット写真（アルバムアート）の転送に対応していません。

アルバム情報を取り込む場合

1 アルバムを選択します。

2 右クリックして表示されるメニューから「アルバム情報の検索」を選択します。
取り込みたいアルバム情報を検索します。

3 [完了] をクリックします。

Windows Media Player11/ 10で好きな画像を登録する場合

1 Windows Media Player の [ライブラリ] タブをクリックします。

2 アルバムを選択します。

3 音楽ファイルを選択します。
すべての音楽ファイルをアルバムアートを登録する場合は、すべての音楽ファイルを選択状態にします。

4 拡張タグ エディタを開きます。
右クリックして表示されるメニューから「拡張タグ エディタ」を選択します。

5「拡張タグ エディタ」の [画像] タブをクリックします。

6 アルバムアートを登録します。
[追加] をクリックします。
登録する画像ファイル(JPEG ファイルのみ）を選択して、[開く] をクリックします。

7 [OK] をクリックします。

メモ

- Windows Media Player 10では、[ツール]→[オプション]で表示される「オプション」の[プレーヤー]タブで「デバイス用に画像サポートを有効にする」にチェックを付けます。

曲や画像を本機に転送する

パソコンに取り込んである曲や画像を、本機に転送します。

Windows Media Player 11/10/9で曲を同期するときは

（説明はWindows Media Player11の場合です）

1 本機をパソコンに接続します。（22 ページ）

2 Windows Media Player を起動します。

3 デバイスの設定を行います。

「KENWOOD_DAP」（内蔵メモリ）または、「リムーバブルディスク」/「KENWOOD_SD」（SD カード）のデバイスの名前が表示されたら、[完了] をクリックします。（「Digital Player」と表示される場合があります。）

「デバイスの設定 ライブラリに追加」表示される場合

ライブラリに追加する曲をパソコンの中から検索します。

Windows Media Player10 の場合

デバイスの設定画面で「手動」を選んで [完了] をクリックします。

4 [同期]① をクリックします。

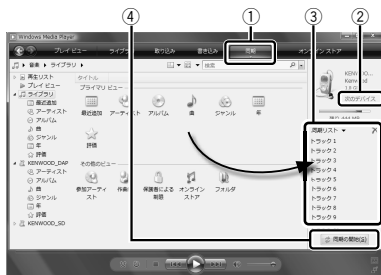
5 画面右側 ② で、本機のドライブを選択します。

「KENWOOD_DAP」（内蔵メモリ）または、「リムーバブルディスク」/「KENWOOD_SD」(SD カード）を選択します。（「Digital Player」と表示される場合があります。）

6 転送する曲を同期リスト ③ に追加します。

ライブラリから曲を選択して右側の同期リストにドラッグ& ドロップします。または、右クリックして表示されるメニューから「'同期リスト' に追加」を選択します。

つづく

7 [同期の開始]④ をクリックします。

Windows Media Playerのバージョンによりボタン名称が変わります。

Windows Media Player10の場合

3 デバイスの設定画面で「手動」を選んで [完了] をクリックします。

Windows Media Player9の場合

- Windows Media Playerなどソフトウェアの操作方法は、お使いのソフトウェアの説明書やヘルプなどをご覧ください。
- 音楽ファイルの転送前に、Windows Media Player上でジャンル、アーティスト名、アルバム名、曲名などが正しいことを確認してください。

Windows Media Player 11/10で画像を同期するときは

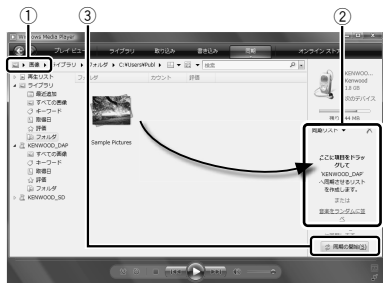
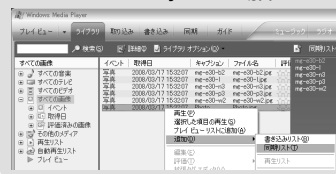
（説明はWindows Media Player11の場合です）

1 前記の「Windows Media Player 11/10/9 で曲を同期するときは」を参照して手順 5 までおこないます。

6 カテゴリ ① の選択から画像を選択します。

7 転送する画像を同期リスト ② に追加します。

ライブラリから画像を選択して右側の同期リストにドラッグ&ドロップします。または、右クリックして表示されるメニューから「'同期リスト' に追加」を選択します。

8 [同期の開始]③ をクリックします。

Windows Media Player 10の場合

7 ライブラリから画像を選択して右側の同期リストにドラッグ&ドロップします。または、右クリックして表示されるメニューから「追加」ー「同期リスト」を選択します。

8 [同期の開始] をクリックします。

- Windows Media Player 10では、[ツール]→[オプション]で表示される「オプション」の[プレーヤー]タブで「デバイス用に画像サポートを有効にする」にチェックを付けます。
- Windows Media Player 9では、画像の同期ができません。「ドラッグ&ドロップで転送するときは」(30ページ)を参照してファイルをコピーしてください。

ドラッグ＆ドロップで転送するときは

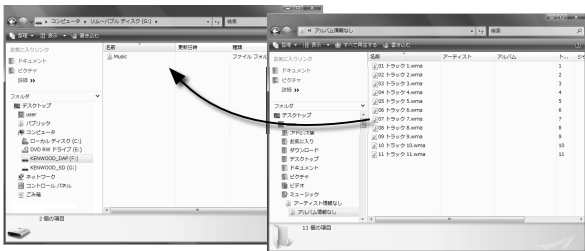
Windows Media Playerのライブラリに登録されていない曲を本機に転送するときは、Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスクから本機へドラッグ&ドロップします。コピー&ペーストでも行えます。

1 本機をパソコンに接続します。（22 ページ）

2 本機に相当するリムーバブルディスクを開きます。

「スタート」ー「コンピュータ」ー「KENWOOD_DAP」（内蔵メモリ）または、「リムーバブルディスク」/「KENWOOD_SD」（SD カード）を選択します。（「Digital Player」と表示される場合があります。）

3 音楽ファイルまたは画像ファイルが入っているフォルダを開きます。

4 転送する音楽ファイルまたは画像ファイルをドラッグ＆ドロップします。または、コピー＆ペーストします。

- Windows Media Playerで音楽CDの曲をパソコンに取り込むときに、コピー禁止が設定されている（「取り込んだ音楽を保護する」にチェックしている）と、本機への転送方法が Windows Media Playerのみに限定されます。ドラッグ＆ドロップやコピー＆ペーストで転送しても再生はできません。

本機から曲や画像を削除する

本機に保存されている音楽ファイルや画像ファイルを削除します。

パソコンのエクスプローラを使って削除する場合

1 本機をパソコンに接続します。（22 ページ）

2 本機に相当するリムーバブルディスクを開きます。
「スタート」－「コンピュータ」－「KENWOOD_DAP」（内蔵メモリ）または、「リムーバブルディスク」/「KENWOOD_SD」（SD カード）を選択します。（「Digital Player」と表示される場合があります。）

3 音楽ファイルまたは画像ファイルが入っているフォルダを開きます。

4 音楽ファイルまたは画像ファイルをゴミ箱にドラッグ& ドロップします。

Windows Media Player 11/ 10/ 9で削除する場合

（説明はWindows Media Player11の場合です。）

1 本機をパソコンに接続します。（22 ページ）

2 Windows Media Player を起動します。

3 [同期]① タブをクリックします。

4 画面左側で、本機のドライブ ② を選択します。
「KENWOOD_DAP」または、「リムーバブルディスク」/「KENWOOD_SD」を選択します。（「Digital Player」と表示される場合があります。）

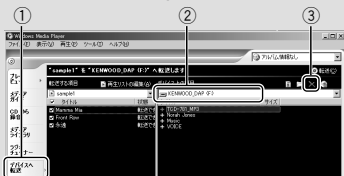
5 削除する曲や画像を選んで、右クリックして表示されるメニューから [削除]③ を選択します。
Windows Media Player 11 で画像を削除する場合は、カテゴリの選択で画像に切り替えます。

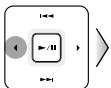
つづく

初めて使うときに

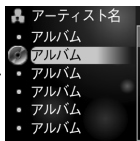
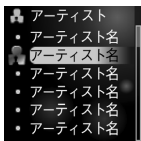
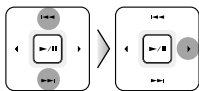
Windows Media Playerのバージョンによりボタン名称が変わります。

Windows Media Player10の場合

Windows Media Player9の場合

本機の操作で削除する場合

1

トップメニューが表示されるまで ◄ を押し続けます。

2 「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」、「トラック」、「フォルダ」、「SDカード」または「ピクチャ」から選択して、曲名（音楽ファイル）または画像ファイルにカーソルを合わせます。

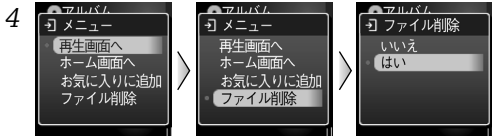
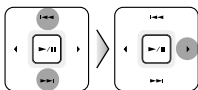
例：アーティストを選択した場合

「アーティスト」→ アーティスト名 → アルバム → 曲名と選択します。

⏮、⏭ を押して項目を選び、► を押して決定します。

この操作を繰り返して曲名や画像ファイルにカーソルを合わせます。

3

曲名や画像ファイルにカーソルを合わせた画面で →] を押します。
ポップアップメニューが表示されます。

- 再生画面で →] を押したポップアップメニューでは、「ファイル削除」を選択できません。
  ◄ を押して曲名や画像のリスト表示画面に戻してから操作します。

4

ポップアップメニューから「ファイル削除」→「はい」を選択します。

|◄◄、►►| を押して項目を選び、
► を押して決定します。
この操作を繰り返してファイルを削除します。

メモ

- 削除は1ファイルごとになります。フォルダの削除やアーティストなどを一括して削除することはできません。
- 「フォルダ」および「SDカード」内のフォルダ構成は使用状況によって異なり、階層数も一定ではありません。このため、ファイルのリストを表示するときには、フォルダの階層に合わせて、手順2の操作を繰り返す必要があります。

曲を選んで聞く

聞きたい曲（音楽ファイル）や見たい画像ファイルを選んで再生します。

内蔵メモリ内の音楽ファイルを選択する

アーティスト	内蔵メモリ内の曲を アーティスト名*3 → アルバム名*1 → 曲名*1と選択します。
アルバム	内蔵メモリ内の曲を アルバム名*1 → 曲名*1と選択します。
ジャンル	内蔵メモリ内の曲を ジャンル名*3 → アルバム名*1 → 曲名*1と選択します。
トラック	内蔵メモリ内の曲を 曲名*2で選択します。
お気に入り	登録されている曲のリストから選択します。（40ページ）
フォルダ	内蔵メモリ内のフォルダ階層をたどって音楽ファイルや画像ファイルを選択します。（36ページ）

SDカード内の音楽ファイルや画像ファイルを選択する

SDカード	SDカード内のフォルダ階層をたどって音楽ファイルや画像ファイルを選択します。（36ページ）

画像ファイルを選択する

ピクチャ	ファイル名で選択します。（42ページ）

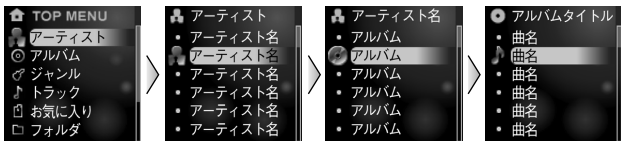
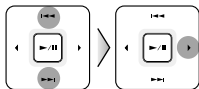
アーティスト、アルバム、ジャンル、トラックから探す

内蔵メモリ内の曲は、タグ情報で分類した中から探すことができます。

1

トップメニューが表示されるまで
◄ を押し続けます。

音楽や画像の再生

2 「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」または「トラック」から選択します。
例：アーティストを選択した場合

「アーティスト」→ アーティスト名 → アルバム → 曲名と選択します。
選んだ項目のリストが表示されます。

⏮、⏭ を押して項目を選び、
► を押して決定します。
この操作を繰り返して選曲します。

3

選択した曲から再生します。

● 手順 2 のリストから項目を選び、►/II を押して決定すると項目に含まれる全曲を再生します。
例えば、アーティスト名で決定した場合は、そのアーティストのすべての曲を再生します。
● 項目の選択中に ◄ を押すと 1 つ前の画面に戻ります。

- 曲にタグ情報が記録されていないと「No information」に分類されます。
- 曲の再生順は、下記の情報の順番になります。

*1 トラック番号順：タグ情報のトラック番号の番号順になります。トラック番号が無い場合はトラックタイトルまたはファイル名の名前順になります。

*2 曲名順：タグ情報のトラックタイトルまたはファイル名の名前順になります。

*3 アルバム名順：タグ情報のアルバムタイトルまたはフォルダ名の名前順になります。アルバム内はトラック番号順になります。

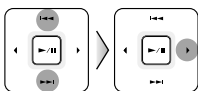
フォルダ階層をたどって音楽ファイルや画像ファイルを探す

1

トップメニューが表示されるまで
◄ を押し続けます。

2 「フォルダ」または「SDカード」から選択します。
例 :「フォルダ」を選択した場合

…

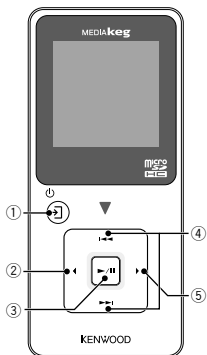
「フォルダ」→ ファイルやフォルダが表示されます。

⏮、⏭ を押して項目を選び、
► を押して決定します。
フォルダの階層に合わせて、操作を繰り返します。

3

選択したファイルが音楽ファイルの場合は音楽ファイルだけを再生し、画像ファイルの場合は画像ファイルだけを再生します。

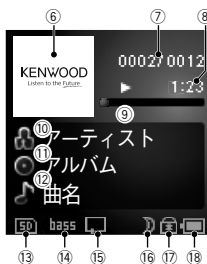
- 選択したファイルのフォルダ内に下位階層のフォルダがある場合は、下位階層のファイルも再生します。下位階層のファイルはフォルダごとに再生します。
- 「フォルダ」および「SDカード」内のフォルダ構成は使用状況によって異なり、階層数も一定ではありません。このため、ファイルのリストを表示するときには、フォルダの階層に合わせて、手順2の操作を繰り返す必要があります。
- 再生する順番は、フォルダごとにファイル名の名前順（ユニコード順）になります。ファイル名の最初に"01"から"99"などの番号を付けると、再生順序を変更することもできます。

音楽や画像の再生

再生中の操作と画面

① ボタン
再生画面中に押すと、ポップアップメニューを表示します。ディスプレイが消えている場合に押すと、画面が表示されます。

② ◄ ボタン
選曲したリスト画面に戻ります。
ジャケット写真 (アルバムアート) を拡大 (全画面) 表示中は元の画面に戻ります。

③ ►/II ボタン
再生中に押すと再生を一時停止します。
もう一度押すと曲の再生を始めます。

④ I◄◄/ ►►I ボタン
現在の曲、前の曲または次の曲の先頭から再生します。
押し続けると、押している間、曲を早戻しまたは早送りします。

⑤ ► ボタン
ジャケット写真 (アルバムアート) を拡大 (全画面) 表示します。拡大表示中に ◄ を押すと元の画面に戻ります。

⑥ アルバムのジャケット写真表示部(アルバムアート)
⑦ トラック番号 / 選択されたトラック数
⑧ 再生経過時間
⑨ 経過時間プログレスバー
⑩ アーティスト名
⑪ アルバムタイトル
⑫ 曲名
⑬ SD カード(21 ページ)
⑭ サウンドモード(44 ページ)
⑮ 再生モード(39 ページ)
⑯ スリープタイマー / アラームタイマー (46 ページ)
⑰ HOLD (18 ページ)
⑱ 電池残量(23 ページ)

レジューム機能

本機では電源を切る前の状態を記憶しています。次回の起動時は停止したところから再生を始めます。

- SDカードを挿入している場合と、パソコンとUSB接続したあとは、レジューム機能が働きません。
- 一時停止したまま一定時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります (オートパワーオフ)。オートパワーオフの時間は変更できます (48ページ)。

アイテムスキップ

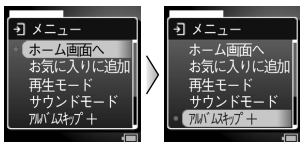
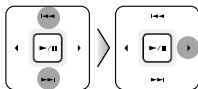
選曲した分類によるアイテム単位で、再生する曲をスキップできます。

アーティストスキップ	アーティスト名のリスト画面で►/❚❚を押して選曲した場合、アーティストスキップで次のアーティストの曲に替わります。
アルバムスキップ	アルバムタイトルのリスト画面または、アルバムから曲名で選曲している場合、アルバムスキップで次のアルバムの曲に替わります。
ジャンルスキップ	ジャンル名のリスト画面で►/❚❚を押して選曲した場合、ジャンルスキップで次のジャンルの曲に替わります。

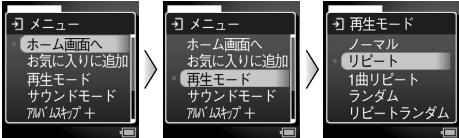
スキップするアイテムは、現在再生している曲を選んだ分類によります。（34ページ）

1

再生中の画面で ⇥ を押します。
ポップアップメニューが表示されます。

2

曲を選んだ分類により、「アーティストスキップ」、「アルバムスキップ」、「ジャンルスキップ」に表示が変わります。

⏮、⏭ を押して「スキップ+」または「スキップ−」を選び、► を押して決定します。

- トップメニューの「アーティスト」、「アルバム」および「ジャンル」から入って選曲している場合のみアイテムスキップができます。

再生モードいろいろ

曲の再生順序を5種類から選択できます。

ノーマル	リスト内の曲を再生し停止します。
リピート	リスト内の曲を繰り返し再生します。
1曲リピート	同じ曲を繰り返し再生します。
ランダム	リスト内の曲をランダムに1回ずつ再生します。
リピートランダム	リスト内の曲をランダムに再生し、これを繰り返します。

リスト内の曲は、現在再生している曲を選んだ分類によります。（34ページ）

例えば、トップメニューの「アーティスト」から入って曲名で決定したとき、リピートに設定するとそのアルバム内の曲を繰り返し再生します。同様にある特定のアーティスト名で►/II を押して決定したとき、リピートに設定するとそのアーティストの全曲を繰り返し再生します。

1

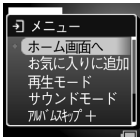
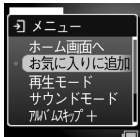
再生中の画面で ⇥ を押します。
ポップアップメニューが表示されます。

2

ポップアップメニューから「再生モード」→ 再生モードを設定します。

I◄◄、►►I を押して項目を選び、
► を押して決定します。
この操作を繰り返して設定します。

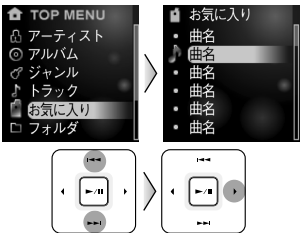
3

設定した再生モードのアイコンが表示されます。

● 項目の選択中に◄を押すと1つ前の画面に戻ります。

お気に入りに追加する／削除する

内蔵メモリ内の好きな曲をお気に入りに集めておけば、いつでもまとめて聞くことができます。お気に入りには100曲まで登録できます。

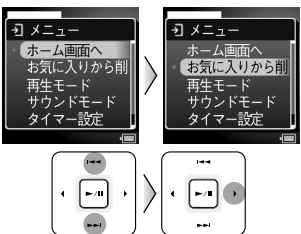
お気に入りに追加する

1 追加したい曲を再生中の画面で ⇥ を押します。
ポップアップメニューが表示されます。

2

⏮、⏭ を押して「お気に入りに追加」を選び、► を押して決定します。

お気に入りを再生する

お気に入りの再生順はお気に入りに追加した順になります。

1

トップメニューが表示されるまで ◄ を押し続けます。

2

「お気に入り」→ 曲と選択します。
選択した曲から再生します。

⏮、⏭ を押して曲名を選び、
► を押して決定します。

お気に入りから削除する

1

前記の「お気に入りを再生する」を参照して、お気に入りから削除したい曲を再生します。
再生中の画面で ⇥ を押します。
ポップアップメニューが表示されます。

2

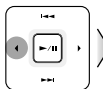
⏮、⏭ を押して「お気に入りから削除」を選び、► を押して決定します。

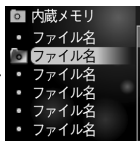
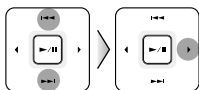
- 項目の選択中に◄を押すと1つ前の画面に戻ります。
- トップメニューの「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」および「トラック」から入って、曲名のリスト画面中に⇥を押したポップアップメニューからもお気に入りに追加・削除ができます。

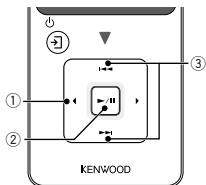
画像を見る

本機に転送されている画像ファイルをディスプレイに表示します。

- 本機で表示できる画像ファイルは、JPEG、BMPファイルです。詳しくは、「定格」（56ページ）をご覧ください。

1

トップメニューが表示されるまで ◄ を押し続けます。

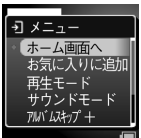
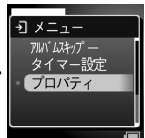
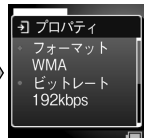
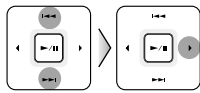
2

「ピクチャ」→「内蔵メモリ」か「SD カード」を選択 → ファイル名と選択します。

⏮、⏭ を押して項目を選び、
► を押して決定します。
この操作を繰り返して画像ファイルを選択します。

画像表示中の操作

① ◄ ボタン
選択したリスト画面に戻ります。

② ►/II ボタン
スライドショーを開始します。
もう一度押すとスライドショーを停止します。

③ ⏮/ ⏭ ボタン
前の画像または次の画像に切り替わります。

- スライドショーの間隔とリピート（再生方法）は、設定メニューの「スライドショー」（48 ページ）で変更できます。

メモ

- 画像ファイルの選択中や画像表示中でも、曲の再生は継続されます。
- 手順2のファイル名を表示している画面で⇥を押したポップアップメニューからもスライドショーを開始することができます。

ファイル情報を見る

再生中の音楽ファイルの情報（フォーマットなど）を表示します。

1

再生中の画面で ⇥ を押します。
ポップアップメニューが表示されます。

2

⏮、⏭ を押して「プロパティ」を選び、► を押して決定します。
⏮、⏭ を押して表示内容を切り替えます。

3

► を押すと再生中の画面に戻ります。

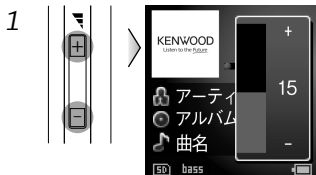
- 項目の選択中に◄を押すと1つ前の画面に戻ります。
- 何も操作せず10秒経過すると再生中の画面に戻ります。

音楽や画像の再生

音量や音質を調整する

音量を調整する

音量を調整します。

1

ボタンを押し続けると、徐々に音量が大きく (＋)/ 小さく (–) なります。

- 音量の上げすぎには十分ご注意ください。

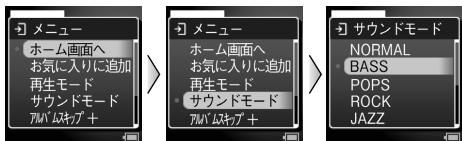
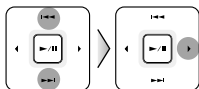
音質を調整する（サウンドモード）

音質を10種類から選択できます。

	NORMAL	通常の音質で再生します。
bass pops rock jazz dance voice	BASS/ POPS/ ROCK/ JAZZ/ DANCE/ VOICE	お好みの音質を選べます。
G.EQ1～G.EQ3	カスタム1 ～ 3	5バンドカスタムイコライザでお好みの音質を設定できます。

1

再生中の画面で ⇥ を押します。
ポップアップメニューが表示されます。

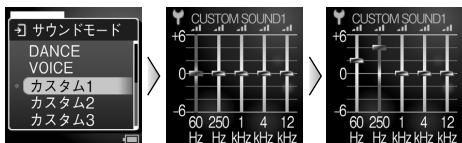
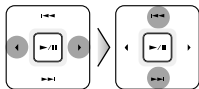
2

ポップアップメニューから「サウンドモード」→ 音質を設定します。

⏮、⏭ を押して項目を選び、
► を押して決定します。
この操作を繰り返して設定します。

3

設定した音質のアイコンが表示されます。

曲名
bass

「カスタム1 ～ 3」を選択した場合は…

4

「カスタム 1 ～ 3」→ 周波数を選択 → レベルを設定します。

◄、► を押して周波数を選び、
⏮、⏭ を押してレベルを設定します。この操作を繰り返してイコライザを完成させます。

5

►/❚❚ を押して決定します。

● 手順 4 で ⇥ を押すとイコライザの設定を中止します。

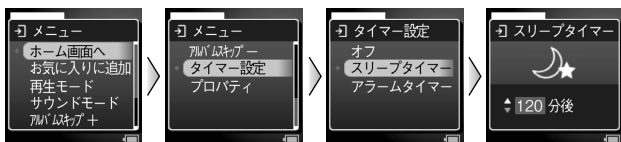
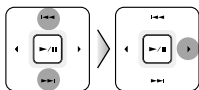
● 手順2の項目の選択中に◄を押すと1つ前の画面に戻ります。
● お買い上げ時の状態では、サウンドモードは「NORMAL」に設定されています。

スリープタイマーとアラームタイマー

スリープタイマー	設定時間後に本機の電源をオフにできます。
アラームタイマー	設定時間後にアラーム（ビープ音）を鳴らすことができます。

1

再生中の画面で を押します。
ポップアップメニューが表示されます。

2 「タイマー設定」からタイマーと動作時間を選択します。
例：スリープタイマーを選択した場合

ポップアップメニューから「タイマー設定」→ 設定するタイマーを選択 → 動作時間を設定します。
動作時間は、1 分から 120 分の間から 1 分間隔で設定できます。

⏮、⏭ を押して項目を選び、
► を押して決定します。
この操作を繰り返して設定します。

3

設定したタイマーのアイコンが表示されます。

- 手順2のタイマー設定で「オフ」を選択すると、タイマーをオフにできます。
- アラームタイマーで鳴っているアラームは、何かボタンを押すと止まります。
- 項目の選択中に◄を押すと1つ前の画面に戻ります。
- スリープタイマーとアラームタイマーの両方を同時に使用することはできません。
- 電源を切るとタイマーの設定は解除されます。

いろいろな設定や調整

優先ドライブを設定する

本機をUSB接続すると、内蔵メモリとSDカードは別ドライブとして認識されます。
USB対応ステレオに接続した際、内蔵メモリまたはSDカードのどちらか一方しか認識できない場合は、優先ドライブを変えることで、もう一方のドライブを認識できます。

《注意》
● パソコンなど両方のドライブを認識できる場合、設定を変更すると表示されるドライブの順番が変わります。

1

トップメニューが表示されるまで
◄ を押し続けます。

2

「設定」→「優先ドライブ」→「内蔵メモリ」か「SD カード」を選択します。

⏮、⏭ を押して項目を選び、
► を押して決定します。
この操作を繰り返して設定します。

● 項目の選択中に◄を押すと1つ前の画面に戻ります。
● お買い上げ時の状態では、優先ドライブは「内蔵メモリ」に設定されています。

各種の設定

画面の明るさの調整、オートパワーオフなど、お好みに合わせて設定できる機能があります。

● 明るさ（ディスプレイの明るさ）

表示する画面の明るさを選びます。

High（明るい）、Mid*（標準）、Low（暗い）

● 表示時間（ディスプレイの省電力）

操作をしないとき、ディスプレイを消して省電力モードにするまでの時間を選びます。

5秒、10秒*、30秒、60秒

● オートパワーオフ

再生していない状態で操作をしないまま、ここで設定した時間が過ぎると、電源がオフになります。

1分、3分、5分*、10分

● スライドショー

- 間隔

  スライドショーで次の画像を表示するまでの間隔を選びます。

3秒、5秒*、10秒

- リピート

  スライドショーを繰り返し再生するかを選びます。

オン*、オフ

● ビープ音（操作確認音）

ボタンを操作したときの操作確認音を鳴らすか設定します。

オン*、オフ

● 言語

ディスプレイに表示するメニューなどの言語を選びます。

ENGLISH、日本語*、DEUTSCH、FRANCAIS、ESPAÑOL、ITALIANO、NEDERLANDS

● 全消去

内蔵メモリまたはSDカードのすべてのデータを消去します。（50ページ）

● 設定リセット

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

音楽ファイルや画像ファイルは消えません。

次に電源を入れると「初めて電源を入れる」（19ページ）の設定画面になります。

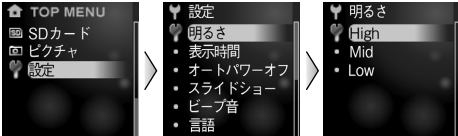
しない、する

● 優先ドライブ

USB接続時に優先するドライブを設定します。（47ページ）

内蔵メモリ*、SDカード

（*印はお買い上げ時の設定です）

● システム情報

本機のシステム情報（ファイル数、内蔵メモリの容量、SDカードの容量、ファームウェアバージョン）が表示されます。

システム情報の表示を消す場合は、►/❚❚を押します。

1

トップメニューが表示されるまで ◄ を押し続けます。

2 「設定」から項目を選択します。

例：明るさを選択した場合

「設定」→「明るさ」→ 明るさを設定します。

I◄◄、►►I を押して項目を選び、► を押して決定します。

この操作を繰り返して設定します。

● 項目の選択中に ◄ を押すと 1 つ前の画面に戻ります。

● 項目の選択中に ◄ を押し続けるとトップメニュー画面に戻ります。

● 項目の選択中に ► を押し続けると再生中の画面に戻ります。

すべてのデータを消去する/フォーマットする

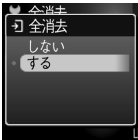
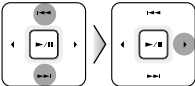
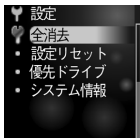
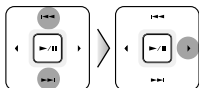
本機に保存されている音楽ファイルなどをすべてのデータを削除します。

《注意》

- 全消去およびフォーマットはすべてのデータを削除します。デモ曲も削除されて戻すことができません。
- 設定メニューの内容も削除されます。次に電源を入れると「初めて電源を入れる」(19ページ)の設定画面になります。
- いったん消去およびフォーマットしたメモリの内容は元に戻せません。間違いのないように慎重に操作してください。
- パソコンを使用してフォーマットする場合は、指定のファイルシステムでフォーマットしてください。指定以外でフォーマットすると本機の起動ができなくなります。(51ページ)

本機ですべてのデータを消去する場合

1

トップメニューが表示されるまで
◄ を押し続けます。

2

「設定」→「全消去」→「内蔵メモリ」か「SD カード」を選択 →「する」を選択します。

I◄◄、►►I を押して項目を選び、
► を押して決定します。
この操作を繰り返して選択します。

いろいろな設定や調整

3

「する」を選択すると全消去を実行します。
全消去が完了するまでお待ちください。

I◀◀、▶▶I を押して「する」を選び、▶ を押して決定します。

- 手順2の項目の選択中に◀を押すと1つ前の画面に戻ります。

パソコンを使用してフォーマットする場合

1 本機をパソコンに接続します。（22 ページ）

2 本機に相当するリムーバブルディスクを選択します。

「スタート」ー「コンピュータ」ー「KENWOOD_DAP」(内蔵メモリ）または、「(SD カード)」/「KENWOOD_SD」(SD カード）を選択します。

3 本機をフォーマットします。

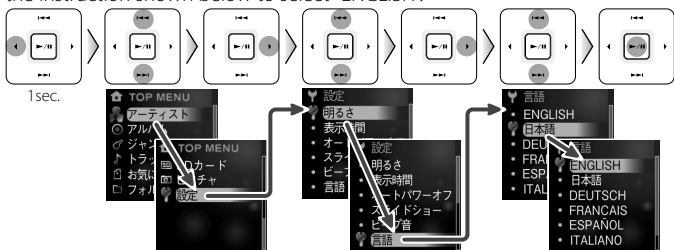
右クリックして表示されるメニューから [フォーマット] をクリックします。表示される「フォーマット」で次のように設定します。

ファイルシステム
内蔵メモリ：FAT32
microSD カード：FAT16
microSDHC カード：FAT32
アロケーションユニットサイズ
：標準のアロケーションサイズ

4 [開始] をクリックします。

Operating instructions

Setting the display language to English

Keep pressing the left button to show the TOP MENU screen. And then follow the instruction shown below to select "ENGLISH".

Function of each button

Button	When in play mode of music files
	Play mode: Lets playback pause temporarily. **Pause mode:** Resumes playback.
	I◀◀ : Each press skips to the beginning of the current track or of the previous track (Skip-down). Press and hold to fast reverse the track. ▶▶I : Each press plays the next track (Skip-up). Press and hold to fast forward the track.
	Press and hold to switch the power ON/OFF. Display the pop-up menu. Press when the display is turned off (screen saver mode) to turn on the display.
	Press briefly: Displays the previous list. **Pressing and holding for more than 1 sec.:** Returns to the home screen.

用語解説

AAC：

正式名「Advanced Audio Coding」の略称。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

JPEG：

圧縮率はおおむね1/10～1/100程度の静止画像データの圧縮方式。
デジタルカメラの録画画像などに使用され、写真など自然画の圧縮に効果的です。

microSDカード：

SDカードの1/4程度の大きさで、SDカード規格と互換性があります。

MP3：

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEG が制定した国際規格です。この圧縮方式では、約1/10 から1/12 の圧縮率（128 kbps時）が得られます。

SDHCカード：

4GB以上の容量を持つSDカードの上位規格です。

USB：

パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格です。
本機はUSB 1.1、2.0に対応しています。

USBマスストレージクラス：

大容量記憶装置として分類されるUSBの機器タイプのことです。ハードディスクやCDドライブのような大容量の記憶装置を「USBマスストレージクラス」と呼びます。
このような機器をパソコンに接続すると、パソコン側からはちょうどリムーバブル ディスクのように見え、通常のドラッグ＆ドロップ操作でファイルを簡単にやり取りすることができます。

WAV：

Windowsの標準的な非圧縮音声形式です。

WMA（Windows Media Audio）：

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式です。

WMP（Windows Media Player）：

Microsoft社が無償で配布しているマルチメディアコンテンツ再生ソフトウェアです。動画や音声の再生に使います。
現在は機能が多機能化し、ジュークボックス機能や音楽作成機能、リッピング（CDからの音楽取り込み）機能などを装備しています。

タグ情報：

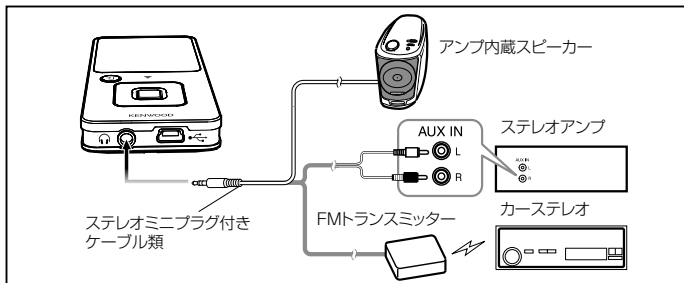
タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど、音楽ファイルに書き込まれている情報です。

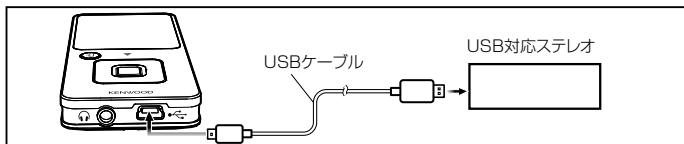
リッピング：

音楽CDなどのデジタルデータをパソコンに取り込むことです。

外部機器との接続について

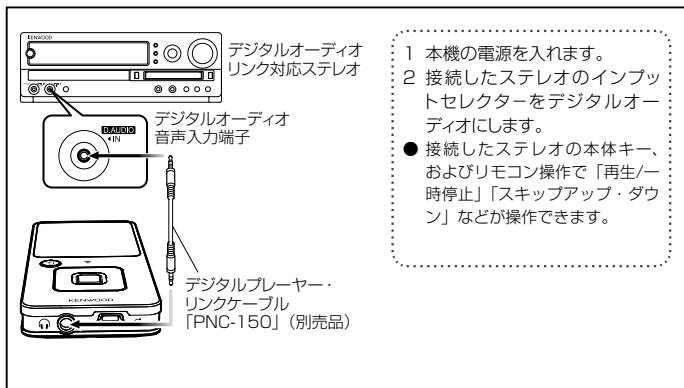
ヘッドホン端子を使うと、アンプ内蔵スピーカーなどの外部機器と接続することができます。
USB端子を使って、USB接続に対応したステレオに接続することができます。

ヘッドホン端子に接続するとき

- 接続する外部機器の入力端子に合わせて、オーディオケーブル（市販品）を用意してください。
- FMトランスミッターをご使用の場合は、車種や周辺機器、アンテナの位置など設置環境によって、ノイズが発生することがあります。
- 温度が高くなった自動車内での使用および機器の車内放置はおやめください。

USB端子に接続するとき

※ USB接続が可能なケンウッド製USB対応ステレオ機種については、「http://www.kenwood.co.jp/j/info_usb_connection.html」をご覧ください。

- 操作方法や再生できるファイルについては、接続したステレオの取扱説明書をご覧ください。
- 温度が高くなった自動車内での使用および機器の車内放置はおやめください。
- 内蔵メモリとSDカードは別ドライブとして認識します。USB対応ステレオでドライブを選択できない場合は、「優先ドライブ」を変更してください。（47ページ）
- ステレオの電源を切る、セレクタを切り替える、またはUSBケーブルを抜くとUSB接続が解除され、本機はデータベースの更新を行います。ステレオに再度USB接続するときは、データベースの更新が終了してから行ってください。

デジタルオーディオプレーヤーリンクについて

本機をデジタルオーディオプレーヤーリンク対応のケンウッド製オーディオ機器と接続すると、本機の再生を外部オーディオ機器から操作できます。

※ デジタルオーディオプレーヤーリンク対応ステレオ機種
：AX-D7、CLK-5i、CLK-7i、CR-A7USB、ES-A5MD、MDX-L1、NDL-100、NDL-100MD、RD-UDA55、R-K1、R-K1000、R-K711、R-K801、SV-3MD、UD-A55、UD-A77、UD-E77WSD（2008年9月現在）

- デジタルオーディオプレーヤーリンクの詳細や操作方法については、デジタルオーディオプレーヤーリンク対応オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 「フォルダスキップ」操作を行うと、本機のアイテムスキップ動作になります。（38ページ）

定格

内蔵フラッシュメモリー *[1]
MG-E504：4 GB
MG-E502：2 GB

ヘッドホン出力
：3.5 mm ステレオミニジャック
：7.0+7.0 mW/16Ω

インターフェース
：USB 2.0（USB 1.1 互換）

ディスプレイ（表示画面）
：1.5 型カラー有機ELディスプレイ*[2]
（128 ×128ドット、262,144色）

最大ファイル数
内蔵メモリ：最大2,000ファイル

最大階層数
：最大12階層

収録時間 / 曲数の目安 *[3]
MG-E504：約64時間／約900曲
MG-E502：約32時間／約450曲

本体寸法（幅×高さ×奥行）
：41.0 mm×92.5 mm×11.8 mm

重量
：約43 g

使用温度範囲
：5℃～ 35℃（ただし結露しないこと）

内蔵電池
：リチウムイオンポリマー充電池

充電時間
：約3.5時間

連続再生時間 *[4]
MP3（128 kbps）：約54時間
WMA（128 kbps）：約50時間
AAC（128 kbps）：約50時間
WAV（44.1 kHz）：約54時間
（内蔵メモリ内の音楽ファイルを再生時）

音楽ファイルフォーマット

MP3（MPEG-1/2 Audio Layer 3）
拡張子：.mp3
サンプリングレート
：22.05/ 24/ 32/ 44.1/ 48 kHz
ビットレート：32 ～ 320 kbps
可変ビットレート*[5]：32 ～ 320 kbps
ID3タグ：ver. 2.2、2.3、2.4

WMA（Windows Media Audio）
拡張子：.wma
サンプリングレート：32/ 44.1/ 48 kHz
ビットレート：32 ～ 320 kbps
可変ビットレート*[5]：32 ～ 355 kbps
（DRM9に対応します。）
（Professional、Lossless、Voiceには対応していません。）

AAC-LC（MPEG-4 Advanced Audio Coding-Low Complexity）
拡張子：.m4a
サンプリングレート
：22.05/32/ 44.1/ 48 kHz
ビットレート：32 ～ 320 kbps
可変ビットレート*[5]：32 ～ 320 kbps

WAV（リニアPCM）
拡張子：.wav
サンプリングレート
：22.05/ 32/ 44.1/ 48 kHz
量子化ビット数：8/ 16 bit
チャンネル：ステレオ、モノラル

画像ファイルフォーマット

JPEG（Joint Photographic Experts Group）

拡張子：.jpg
：最大 5120(W) × 3840(H) ピクセル
色数：8/ 16/ 24 bit
（プログレッシブJPEG、JPEG2000には対応していません。）

BMP（bitmap image）

拡張子：.bmp
：最大 3000(W) × 3000(H) ピクセル
色数：8/ 16/ 24 bit

SD カード *6

対応SDカード
：microSDHC™カード、microSD™カード
（SDオーディオフォーマットで録音されたファイルは再生できません。）

必要なパソコンのシステム構成 *7

OS：Microsoft® Windows Vista™ Ultimate/ Business/ Home Premium/ Home Basic
Microsoft® Windows® XP Professional/ XP Home Edition
Microsoft® Windows® 2000 Professional
（日本語版のみ対応します。）
（64ビットOSには対応していません。）
USB端子：USB 1.1/2.0 規格に準拠

• これらの定格およびデザインは、改善のため、予告なく変更することがあります。

*1 実際に使用可能な領域は、システムファイル領域があるため表記の容量より少なくなります。

*2 有機ELディスプレイは、高精度の技術で作られておりますが、一部に非点灯、常時点灯の表示（画素）が存在することがあります。（故障ではありません。あらかじめご了承ください。）

*3 128kbpsのMP3/WMA/AAC形式で1曲約4分の場合。

*4 付属のヘッドホン使用、サウンドモード「Normal」のときの目安です。保証する時間ではありません。周囲の温度や使用状況よって短くなる場合があります。
SDカード内の音楽ファイルを再生時には、再生時間が短くなります。

*5 可変ビットレート（VBR：Variable Bit Rate）の音楽ファイルは、ビットレートの範囲外になる場合があり、再生できないことがあります。

*6 本機は、SD規格およびSDHC規格に準拠したSD/SDHCメモリーカードの再生に対応していますが、すべてのSD/SDHCメモリーカードの動作互換を保証するものではありません。
詳しい情報はホームページをご覧ください。**http://www.kenwood.co.jp/faq/**

*7 適合するすべての環境について動作保証するものではありません。
OSがプリインストールされたパソコンをご使用ください。OSをアップグレードしたパソコンや自作パソコンでの動作保証はいたしません。

廃棄時のご注意

内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中にいれない

発熱・破裂・発火によって火災の原因となります。

内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない

火災・破裂・発熱の原因となります。

内蔵電池のコネクターに絶縁テープを貼る

電極がショートすると、破裂・発火のおそれがあります。

警告

内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない

けが・事故の原因となります。

内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

そのままにしておくと、目に障害がおきる原因となります。

内蔵電池のリサイクル

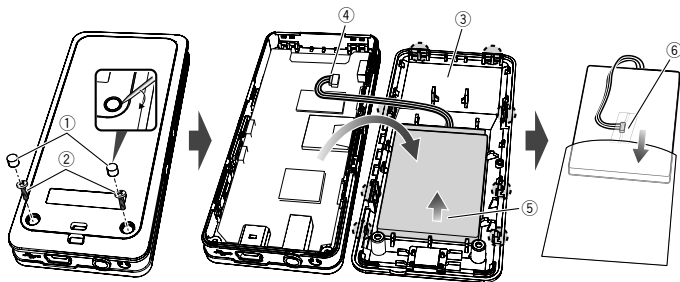
本機の内蔵電池は、リチウムイオンポリマー充電池を使用しています。
リチウムイオンポリマー充電池はリサイクル可能な資源です。
本機を廃棄する際には、内蔵電池を取り出し、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関する情報：

有限責任中間法人 JBRC
ホームページ：http://www.jbrc.com

廃棄時の内蔵電池の取り外しかた

重要：廃棄をするとき以外は、本機を絶対に分解しないでください。内蔵電池を取り外すときは必ず電池のコネクター部から取り外し、コードを切らないでください。ショートし破裂・発火のおそれがあります。

1　背面の目隠しのゴムを2個」取り外します。
2　精密ドライバー (+)を使用してビスを2本、取り外します。
3　背面のケースを取り外します。8箇所ツメで固定されています。
4　内蔵電池のコネクターを外します。
5　内蔵電池を背面のケースから取り出します。両面テープで固定されています。
6　取り外した内蔵電池は、コードのコネクター部をテープでおおうようにして内蔵電池に貼り付け、ポリ袋などに入れます。

- 内蔵電池は完全に消耗したことを確認してから、取り外してください。
- 一度取り出した内蔵電池は、再度コネクターに接続しないでください。
- 取り出した内蔵電池はなるべく早めに充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

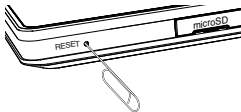
故障かな？と思ったら

電源が入らない、時々電源が落ちる、正しく表示されないなど、故障と思われるような症状が発生した際には、サービス窓口にご相談になる前に下記の項目を確認してください。

1 61 ～ 62 ページの各項目を確認します。

2 本機のリセットボタンを押します。

リセットボタンをクリップなどで押してください。リセットボタンが押されると「カチッ」と感触があります。

《注意》

リセットボタンを押すと、お気に入りの設定が削除され、設定メニューの値がお買い上げ時の状態に戻ります。

次に電源を入れるときは、起動画面が表示されるまで約10秒かかります。また、「初めて電源を入れる」（19ページ）の設定画面になります。

3 ホームページのサポート情報をご覧ください。

ホームページにて、製品に関する一般的なご質問などの情報を提供しています。

http://www.kenwood.co.jp/faq/

4 ホームページにファームウェアのアップデートが記載されているか確認します。

ホームページにファームウェアのアップデートが記載されている場合は、パソコンを使用してファームウェアのアップデートを行います。アップデートの手順はホームページに記載されています。

http://www.kenwood.co.jp/faq/

5 上記の項目を確認しても問題が解決しないときは、カスタマーサポートセンターにご相談ください。

お問い合わせの際は、「お問い合わせの前に」(63 ページ）の内容をお知らせください。

症状	対策
電源が入らない、ボタンを押しても操作できない。	ホールド機能がオンになっています。 ➡ 側面のHOLDスイッチでホールド機能を解除してください（18ページ）。
	バッテリの残量が無くなっています。 ➡ 本機とパソコンをUSBケーブルで接続してバッテリを充電してください（22ページ）。
	パソコンと接続中です。 ➡ 本機をパソコンに接続しているときは、本体での操作ができません。
充電してもすぐに残量がなくなる。	バッテリが劣化しています。 ➡ 新しい内蔵電池に交換してください。 なお、バッテリの交換についてはお買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にご依頼ください。
音が聞こえない。	ヘッドホンが正しく接続されていません。 ➡ ヘッドホンと本体を正しく接続してください。
充電できない。	USBケーブルが正しく接続されていません。 ➡ 本機側とパソコン側のコネクタを確認してください。
	使用温度の範囲をはずれています。 ➡ 使用温度の範囲内で充電してください（56ページ）。
パソコンが本機を認識しない。	USBケーブルに不具合があります。 ➡ 別のUSBケーブルに変えて接続してください。
	パソコンと正しく接続されていません。 ➡ パソコンと本機の接続を確認してください。
トップメニュー画面に外国語が表示される。	設定メニューの言語を日本語以外に設定しています。 ➡ 誤って言語を設定した場合は下記の項目から言語を設定し直してください。 Settings ＞ Language Einstellung ＞ Sprache Réglages ＞ Langue Ajustes ＞ Idioma Configurazione ＞ Lingua Instellingen ＞ Taal

こんなメッセージが表示されたら

表示	対策
メモリーがいっぱいです	メモリーの空き容量が少ないときに表示されます。 ➡ 本機のシステム情報を記録するため、空き容量が14MB必要です。ファイルを削除して空き容量を増やしてください。
ファイルシステムエラー	本機のファイルシステムで異常が発生しました。 ➡ 本機をフォーマットしてください（50ページ）。
このSDカードは使用できません	本機で使用できないファイルシステムでフォーマットされています。 ➡ パソコンを使用してSDカードをフォーマットしてください。フォーマットの設定は51ページをご覧ください。
サポート外のファイルです	本機でサポートされていない形式のファイルを再生しようとしました。 ➡ 本機で再生できるファイル形式は、「定格」をご覧ください。（56ページ）
ファイル数が制限を超えています	ファイルを管理できる最大数に達しています。 ➡ 不要なファイルを削除してください。管理できる最大ファイル数は、「定格」をご覧ください。（56ページ）
再生するライセンスがありません	DRM付きの音楽ファイルでライセンスが切れて再生できません。 ➡ ライセンスを確認して、ライセンスが切れていない音楽ファイルを転送し直してください。 DRM付きのWMAファイルをWindows Media Player以外から転送しました。 ➡ DRM9方式のWMAファイルはWindows Media Playerで転送してください。（DRM10方式には対応してません。）
コンテンツがありません	本機内に再生できるファイルが保存されていません。
しばらくお待ちください	メモリー内のファイル情報を更新しています。 更新が終わるまでしばらくお待ちください。
ローバッテリー	電池の残量がありません。 ➡ 充電してください。（22ページ）

お問い合わせの前に

お問い合わせの際は、あらかじめ下記の項目をご用意ください。また、製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/

製品に関して

- 製品ご購入日
- 製品名および製品型番
- シリアル番号
  本体の背面に貼られているシールの8桁の数字です。
- ファームウェアバージョン
  設定メニューの「システム情報」（49ページ）でご覧になれます。

パソコン環境に関して

- OS：Windows Vista、XP、2000
- サービスパックのバージョン

不具合症状に関して

- 症状の詳細
  1) 何が
  2) どのような状況で
  3) どんな症状が発生したか
- 症状の頻度
  1) 一度だけ発生し、その後は起きていない
  2) 再発するが、再起動すれば発生しない
  3) 再起動しても発生する
  4) その他
- 症状発生した直前の操作内容
  1) 症状発生時のパソコンおよび本機の画面の状態（パソコンおよび本機の表示）
  2) エラーメッセージの有無とメッセージ内容
  3) トラブルを解決しようとして行った操作内容

録音（リッピング）に関して

- 録音（リッピング）ソフトウェア名とバージョン：
  Windows Media Player 11/10/9 等
- 不具合発生のファイルについて
  1) アーティスト名
  2) アルバム名
  3) タイトル名
  4) 録音（リッピング）方式
  5) ビットレート
     MP3（_____ kbps、VBR）
     WMA（_____ kbps、VBR）
     AAC（_____ kbps、VBR）
     WAV（_____ kHz）
  ※ WMA、AACファイルの場合、著作権保護（DRM）の有無
  ※ 可変ビットレート（VBR）の場合は、設定した可変の幅

SDカードに関して

1) メーカー名
2) 品番

重要：本機の修理をご依頼のときは、メモリーの内容（音楽ファイルなど）の保証はいたしません。

お問い合わせ窓口

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日～金曜日　**9:30 ～ 18:00**
土曜日　**9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30**
※日曜、祝日及び弊社休日を除く

ナビダイヤル® **0570-010-114**
※一般電話･公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-933-5133**
- FAX　**045-933-5553**
- 〒 226-8525　横浜市緑区白山 1-16-2

ケンウッド全国サービス網（2008年9月現在）

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお申しつけください。
（各サービスセンターの名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

北海道

札幌サービスセンター　☎ (011) 743-7740
〒 007-0834　札幌市東区北 34 条東 14-1-23

東北

仙台サービスセンター　☎ (022) 288-3538
〒 984-0011　仙台市若林区六丁の目西町 8-1 (斎喜センタービル)

関東・信越

さいたまサービスセンター　☎ (048) 647-6818
〒 330-0801　さいたま市大宮区土手町 1-2（JA 共済埼玉ビル 1F）

千葉サービスセンター　☎ (04) 7163-1441
〒 277-0081　柏市富里 1-2-1

横浜サービスセンター　　　☎ (045) 939-6242
〒 226-8525　横浜市緑区白山 1-16-2

新潟サービスセンター　　　☎ (025) 287-7736
〒 950-0923　新潟市中央区姥ケ山 1-5-37

目黒サービスセンター *[1]
〒 153-0042　目黒区青葉台 3-17-9

*[1] 修理持込専用窓口：電話でのお問合せは、カスタマーサポートセンターにて承ります。

中部・甲州

名古屋サービスセンター　　☎ (052) 917-2550
〒 462-0861　名古屋市北区辻本通 1-11

静岡サービスセンター　　　☎ (054) 262-8700
〒 420-0816　静岡市葵区沓谷 5-61-1

金沢サービスセンター　　　☎ (076) 265-5045
〒 920-0036　金沢市元菊町 21-87

近畿・四国

大阪サービスセンター　　　☎ (06) 6394-8075
〒 532-0034　大阪市淀川区野中北 2-1-22

高松サービスセンター　　　☎ (087) 835-2413
〒 760-0068　高松市松島町 3-1

中国

広島サービスセンター　　　☎ (082) 832-2210
〒 731-0137　広島市安佐南区山本 1-8-23

九州

福岡サービスセンター　　　☎ (092) 551-9755
〒 815-0035　福岡市南区向野 2-8-18

鹿児島サービスセンター　　☎ (099) 251-6347
〒 890-0063　鹿児島市鴨池 2-15-10（パレス鴨池 1F）

沖縄サービスセンター　　　☎ (098) 874-9010
〒 901-2101　浦添市西原 4-36-17（(株) 物琉 2F）

- ケンウッドサービスセンター　営業時間のご案内：
  午前 10 時から午後 6 時まで
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祝日及び当社休日を除く）

保証とアフターサービス　よくお読みください

1.保証について

- **保証書ー**製品には保証書が添付されております。
  保証書は、必ず「**お買い上げ日**」·「**販売店名**」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間ー**お買い上げの日より 1 年間です。
  電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「**無料修理規定**」をご覧ください。

2.修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または「**ケンウッド全国サービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

3.補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6 年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.修理を依頼されるときは

「**故障かな？と思ったら**」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または「**ケンウッド全国サービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5.アフターサービスについて

- 保証期間中は、「**無料修理規定**」に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- 修理料金の仕組み（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）
  ① 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
  ② 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
  ③ 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
  ④ 送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。
- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかリモコン、ヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6.保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
5. **次の場合には保証期間内でも有料になります。**
   (1) 保証書のご提示のない場合。
   (2) 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
   (3) 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
   (4) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
   (5) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
   (6) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
   (7) 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両<車載用製品を除く>、船舶への搭載等）
   (8) 製造番号の改変及び、取り外した製品。
   (9) 消耗部品 (例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電池等) の交換。
   (10) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。 (This warranty is valid only in Japan.)
7. **保証書は、再発行しません。大切に保管してください。**

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、サービス窓口へお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「**保証とアフターサービス**」をご覧ください。

保証書

持込修理用
（日本国内専用）

品名	デジタル オーディオ プレーヤー	形名	MG-E504 MG-E502
保証対象	本体	保証期間	（お買上げ日より） 1 年間
※お買上げ日	年　月　日		
※お客様	お名前　様 ご住所 電話番号　（　）		
※販売店	店名 住所 電話番号　（　）		

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3